

## 奈良県・東大寺大仏殿（平城遷都 1300 年記念）日本公演

19:00～	東大寺の僧侶による読経
--------	-------------

19:20～	JVCA 筒井理事長 挨拶
--------	---------------

➤今宵、大仏様に、ベトナム弦楽四重奏団の楽曲や民族楽器トルンの演奏を奏上できることは財団理事長として至上の慶びでございます。まず、本日の演奏会の開催にご尽力くださいました東大寺関係者やベトナム国立交響楽団の皆様方に心より感謝申し上げます。

天平の昔、西暦 743 年、聖武天皇は国家の安寧を願って「盧舎那仏造立の詔」を発せられました。僅か 9 年足らずで、仏教伝来 200 年後の西暦 752 年に世界最大のブロンズ造の大仏様を見事に創建されました。この偉業を達成された東大寺や当時の日本人の先進性と英知に驚嘆せざるを得ません。その後、不幸にも大仏様は、二度の戦禍にみまわれましたが、東大寺先人の人々の血の滲む苦勞で再建をされ現在に至っています。最近の日本人は経済の長期低迷で自信を失って元気がありません。我々は、大仏様の歴史を学ぶことで困難にチャレンジする勇気と日本の将来に自信を持つべきだと思います。

今宵は、インド僧菩提僊那が導師を務めた開眼供養絵で林邑樂を奏でたベトナム僧仏哲に思いを馳せながらベトナム音楽を楽しんでいただきたく存じます。

ご多忙のところご出席くださいました皆様方に深く感謝申し上げるとともに、皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。最後に、今後も日越文化交流にご理解を賜りますようお願い申し上げます。私私の挨拶とさせていただきます。シンカムウォン。

19:30～	演奏 「ヴァオ・チュア」(入寺)
--------	------------------

➤東大寺に捧ぐ・光明皇后 1250 年御遠忌献呈曲<委嘱世界初演>

「ヴァオ・チュア」は、東大寺大仏様へ捧げるために作曲され、本日が初めての演奏となります。

19:40～	在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館 Le Duc Luu 総領事 挨拶
--------	---

➤本日、ベトナム社会主義共和国総領事館の代表としてお招きいただき、心より感謝申し上げます。この演奏会は日本平城遷都 1300 年、ベトナムハノイ 1000 年そして日本ベトナム

ム外交関係設立 37 周年記念を祝して開催されて、本当に大事な意味を持っています。752 年に奈良の東大寺大仏殿前でベトナム仏哲様はベトナム中部のランアプ王国から来られて、ランアプバヤ踊りが伝えられました。その後現在まで日本のお寺で行っていることを聞いております。本日の演奏会も歴史的なイベントになることでしょう。

美しい奈良市は、日本国の 1300 年前の首都として、また現在も有名な観光地で特徴のある日本の伝統的な建築物がたくさん残されています。奈良の平城京は、ベトナムの首都ハノイで **ThangLong** 皇居（世界文化遺産）の建築方式等と共通点があります。それは、日本とベトナムは歴史、文化の共通そして長い歴史の友好交流を意味するものだと思っております。日本とベトナム民族はお互いに交流して、本日の日本ベトナム文化交流演奏会が成功に行われて、両国の国民の期待していることを実現でき、世界そしてアジア地域の平和、安定と豊さに積極的に貢献できると信じています。

本日の友好的な雰囲気の中、この日越文化交流演奏会が大成功に行われますようお祈りを申し上げます。ベトナム政府そして国民の代表として、(財)日本・ベトナム文化交流協会の皆様、そして筒井理事長の今までのベトナムへの大変貴重なご協力とご支援につきまして心より感謝申し上げます。どうも有り難うございます。

19:45～	演奏
--------	----

- トルン(ベトナム民族楽器)：浜辺の歌、泉のトルン、荒城の月、タイ・グエン地方へ帰る
- 「ベトナムの蓮」弦楽四重奏団：故郷の思い出、懐かしい南国、春の連曲、黒毛の馬の歌

20:20～	華厳宗管長東大寺第 220 世 北河原公敬別當 挨拶
--------	-------------------------------

➤日越友好関係が色々な分野で盛んになってきています。本日の(財)日本・ベトナム文化交流協会主催のコンサートを大仏殿にて行われることは非常に良い機会だと思います。

20:25～	東大寺より記念品贈呈
--------	------------

➤在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館 Le Duc Luu 総領事、筒井理事長、「ヴォア・チュア」を作曲した Ngo Hoang Quan 氏、指揮者本名徹次氏、演奏者を代表して奥平一氏へ東大寺より記念品が贈呈されました。